

雪庇ガード

雪庇ガードあり

雪庇形成リスクを低減

※設置イメージ

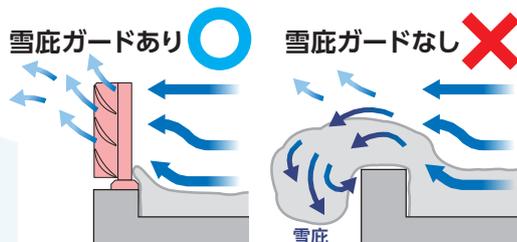
雪庇ガードなし

気流で雪を吹き飛ばす!
危険な雪庇による被害リスクを

低減!!



雪庇が落下した場合、人身事故や建物の庇の損壊など、重大な被害につながるおそれがあります。また、駐車中の車両や隣接する建物の屋根・庇・塀などにも危険が及ぶ可能性があります。



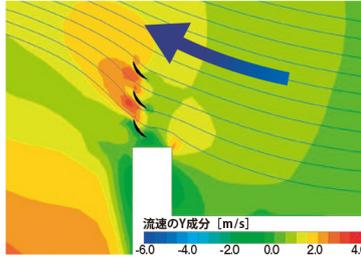
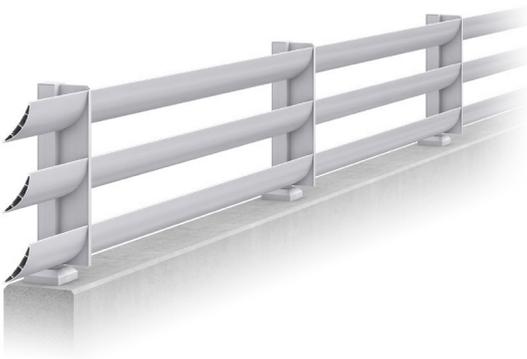
「雪庇ガード」は、吹雪の流れを上方向へ誘導することで、風下側の軒先で渦が発生しにくい状態をつくります。

吹雪になると、無落雪屋根の風下側の軒先には風の渦が生じ、その影響で飛ばされた雪が付着して雪庇が形成されます。

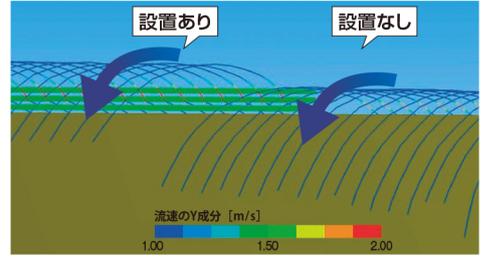
雪庇とは

雪庇とは建築物の屋上に積もった雪が風によって外壁面より外側に張り出し、不安定にたまった雪の塊のことです。

雪底形成リスクを低減するメカニズム!



雪底ガードを設置した場合の気流シミュレーション図(断面)



雪底ガードを設置した場合と設置しない場合の3D気流シミュレーション図

カラーバリエーション

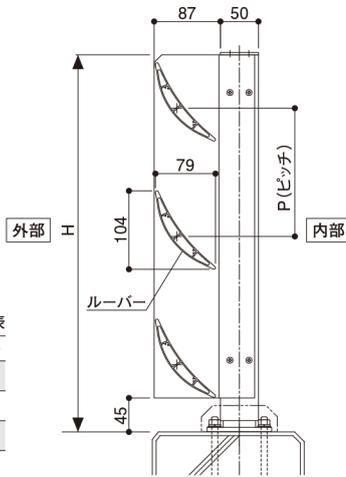


シミュレーション図では、雪底ガードの設置によって風が斜め上方向へ誘導されている様子が確認できます。3D図でも、未設置の手前側に比べ、設置した奥側では風がより強く上方へ持ち上げられています。この上向き気流によって軒先付近の渦が抑えられ、雪が滞留しにくくなるため、雪底の形成を抑制すると考えられます。



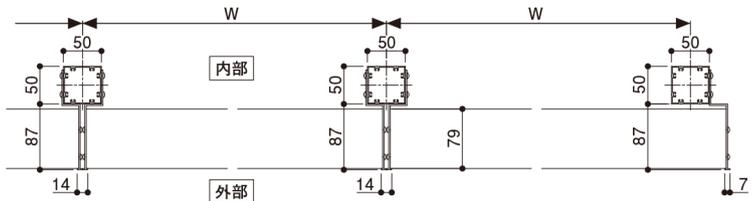
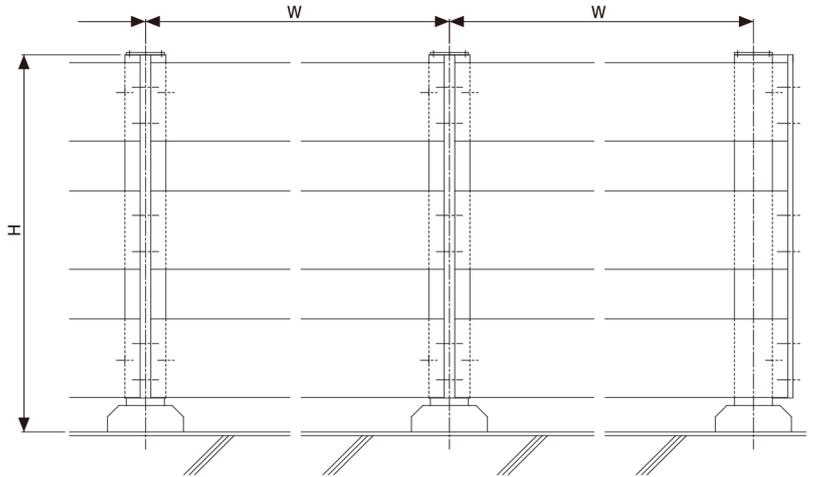
注意
積雪が「雪底ガード」の上端に達すると上向き気流が発生しなくなり、吹雪を上方へ飛ばす効果がなくなります。

納まり図 DETAIL S=1/10



ルーパー本数・ピッチ一覧表

高さH	ルーパー本数	ピッチ
500	3本	170
600	4本	147
700	5本	135
800	5本	160



注意

W寸法 (mm) W ≤ 1500
H寸法 (mm) H ≤ 800

注意

- 上記製作範囲は参考値であり、強度区分および納まりにより異なります。
- 実際の工事では躯体条件や設計安全率の設定により、W寸法が小さくなりますのでご注意ください。
- 詳細については、もよりの営業所までお問い合わせください。

安全に関するご注意

製品を正しく安全にお使い・施工していただくために、下記の点をお守りください。

- 「設計手引書」をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ご使用前に「墜落防止手すりユニット ご使用の手引き」をよくお読みください。
- 「墜落防止手すりユニット ご使用の手引き」は施工後、引渡し時にお施主様に必ずお渡しください。

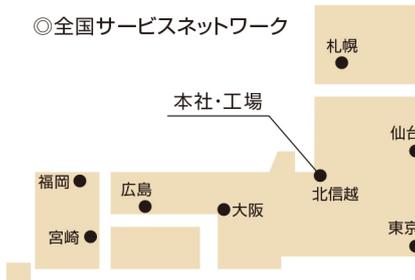
※ 製品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。
※ このカタログ中の画像は写真またはCGを使用しています。
※ このカタログ中の製品色は印刷の特性上、実際とは多少異なる場合がありますのでご了承ください。

●お問い合わせ、ご用命は



本社・工場 / 富山県魚津市北鬼江616番地

◎全国サービスネットワーク



本社 TEL 0765-24-1032 FAX 0765-24-1051
札幌 TEL 011-624-5080 FAX 011-633-7088
仙台 TEL 022-288-2141 FAX 022-288-5070
東京 TEL 03-5204-0820 FAX 03-5204-0824
北信越 TEL 0765-55-1208 FAX 0765-55-1206
大阪 TEL 072-645-2626 FAX 072-645-2627
広島 TEL 082-291-8251 FAX 082-291-8260
福岡 TEL 092-541-7771 FAX 092-541-7701
宮崎 TEL 0986-46-5180 FAX 0986-46-5100

インドネシア PT.NIPPON CARBIDE INDUSTRIES INDONESIA
TEL +62-21-897-1177



ビニフレームのウェブサイト

製品情報・施工事例・カタログ・CADデータなどの各種情報を閲覧できます。

<https://www.vinyframe.co.jp/>